

ユニセフカップ2008 西宮国際ハーフマラソン

～アフリカの子どもたちの命と健康を守ろう！～

実施レポート

阪神甲子園球場前をスタート、武庫川河川敷を駆け抜ける「ユニセフカップ2008西宮国際ハーフマラソン」が、2日、絶好の秋空の下、開催されました。今年23年目を迎える大会には、全7種目に昨年を上回る5265人も参加者がエントリーし、互いに健脚を競いました。本大会は「アフリカの子どもたちの命と健康を守ろう！」をテーマにユニセフ活動を支援。日本ハムは、99年から応援させて頂いています。特別協賛社の代表として近畿圏量販部・木綿章夫次長が、甲子園球場前で行われた開会式で挨拶と寄付金の贈呈、フラッガーを務められたあと、武庫川河川敷に場所を移して、小学生駅伝の上位表彰も務められました。

今回も日本ハムグループは「ニッポンハムチャリティフードショップ」を開設し、「小さなシャウエッセンの具だくさん味噌汁」、「ZEROあらびきウインナーミニドッグ」、「ベーコンピザ」、「肉まん」、「炭火焼ビビンバ」、又日本ルナの「バニラヨーグルト」、「ラッシー」や日本ピュアフードの「鍋祭りちゃんこうどん」などを特別販売し、ランナーの皆様はもちろんそのご家族、お仲間の方々にも楽しんでいただきました。また、ハムリンズも大活躍！恒例のハムリンズ体操に加え、芦屋では初登場の『ハムリンズ食育クイズ館』を設置。「食べることを楽しく学ぼう」をテーマに、来館者に食育クイズラリーや食育アニメをお楽しみいただきました。

日本ハムグループは「食とスポーツで健康を育てよう。」をテーマに、プロからアマチュアまで幅広いスポーツ支援に取り組み、皆様の心と体の健康を応援して参ります。



特別協賛社挨拶(木綿次長)



ユニセフへ寄付金贈呈(木綿次長)



開場を盛り上げるハムリンズ



白熱の小学生駅伝



小学生駅伝の上位表彰(木綿次長)



いざスタート!



武庫川沿いを颯爽と駆け抜けるランナーたち



恒例のフードショップは大賑わい